

増補改訂にあたって

このたび『豊能町の石の文化財』を二〇年ぶりに全面的に改訂し再版することといたしました。

この『豊能町の石の文化財』は、昭和四五年に当時の東能勢村郷土史研究会のご尽力により発行されたもので、石造文化財を研究される方々にとって欠かすことのできないものであります。

さて本町は、大阪の北部に位置する緑豊かな自然環境の中にあり、「人とみどりが輝くまち」とよの」をめざしています。本町も近年、少子・高齢化の傾向が強まっておりますが、活力あるまちづくりをめざし、町民の皆様とともに尽力しています。町各所には、今も多くの石造文化財がひっそりとたたずんでおります。これらの文化財は、先人たちがいろんな思いを秘めて私たちに残してくれた大切な贈りものです。特に、大きな石に多くの石仏を彫った「多尊石仏」は代表的なもので、戦国時代に生きた土地のお百姓さんたちや庶民が、逆修供養によって来世に安穏を願わざるを得なかった当時の生活の一端を、今の私たちに伝えてくれています。

これら先人の残してくれた貴重な文化遺産を大切に守り、そこに秘められた思いを受け継ぎ、後世に伝えていくことが、今を生きる私たちの努めであると考えます。

むすびになりましたが、改訂再版にご協力いただいた方々に心から敬意と感謝を捧げ再版のことばといたします。

平成二八年三月

豊能町教育委員会

教育長 石塚謙二